

夢プロジェクト
「スポーツは夢を与える。夢は未来を創造する」
～明海大学の2020年～

<実施レポート>

明海大学 チームレジェンド
(2014年度 夢プロジェクト 採用団体)

企画コンセプト

私たちは、2014年夢プロジェクト採用団体の「チームレジェンド」です。

オリンピック選手に会って・・・

「スポーツの持つ力やスポーツの素晴らしさが人々に与える影響を実感したい」と思ったのが、このプロジェクトを起案したきっかけです。

スポーツを通じて「夢を描くこと・それを実現することの大切さを広めていきたい」という思いをもとに活動しました。

2020年にはスポーツの祭典が東京で開催されます。

スポーツが持つポジティブな力を間近に感じられる絶好の機会なのです。

そんなビッグイベントに私たちも触れてみたい！！

そこで・・・

「明海大学が」、さらに「浦安が」、東京五輪と「どんな関わり方が出来るのか？」を学生や浦安市民の方々と考えてみました。

活動の流れ

2014年

2015年

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

11/3
プレゼン

12月
結果発表
1位通過!

企画

挫折

・就活で動けない
・メンバーの脱退
(5月下旬)



6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

再スタート

もう一度がんばろう!

企画立て直し

チラシデザイン

PR期間

8/11
SPORTS BIZ訪問①
(企画説明と出演依頼)

9/17
学祭実行委員会と
ミーティング

11/1
パネル
ディスカッション

11/28
意見交換会

10/16
チラシ・折り込みチラシ配布

12/5
報告会

10/22
山崎一彦さんに会いに順天堂大学へ

10/30
SPORTS BIZ訪問②
(進行打ち合わせ)



実施内容①オリンピックによるパネルディスカッション

<イベント概要>

●イベント名：オリンピックによるパネルディスカッション ～2020年 明海大学ができること～

●日時：2015年11月1日（日） 11:00～12:00 *10:40開場

●会場：明海大学浦安キャンパス2201教室

●参加者：100名

●内容：オリンピック2名をパネリストに迎え、パネルディスカッションを実施。

今までに見てきたオリンピックの「街の様子」や「施設の様子」、
「ボランティアの様子」、「人々の様子」などについてクロストーク。
「2020年に明海大学ができること」を探るヒントを探りました。

パネルディスカッション後、参加者にアンケートを実施し、
2020年東京オリンピックに関連して「明海大学」や「浦安」が出来る
取り組みについての企画案を収集しました。

さらに、アンケート分析や企画立案するコミュニティづくりの為に
後日実施する「意見交換会参加者」を募集した。

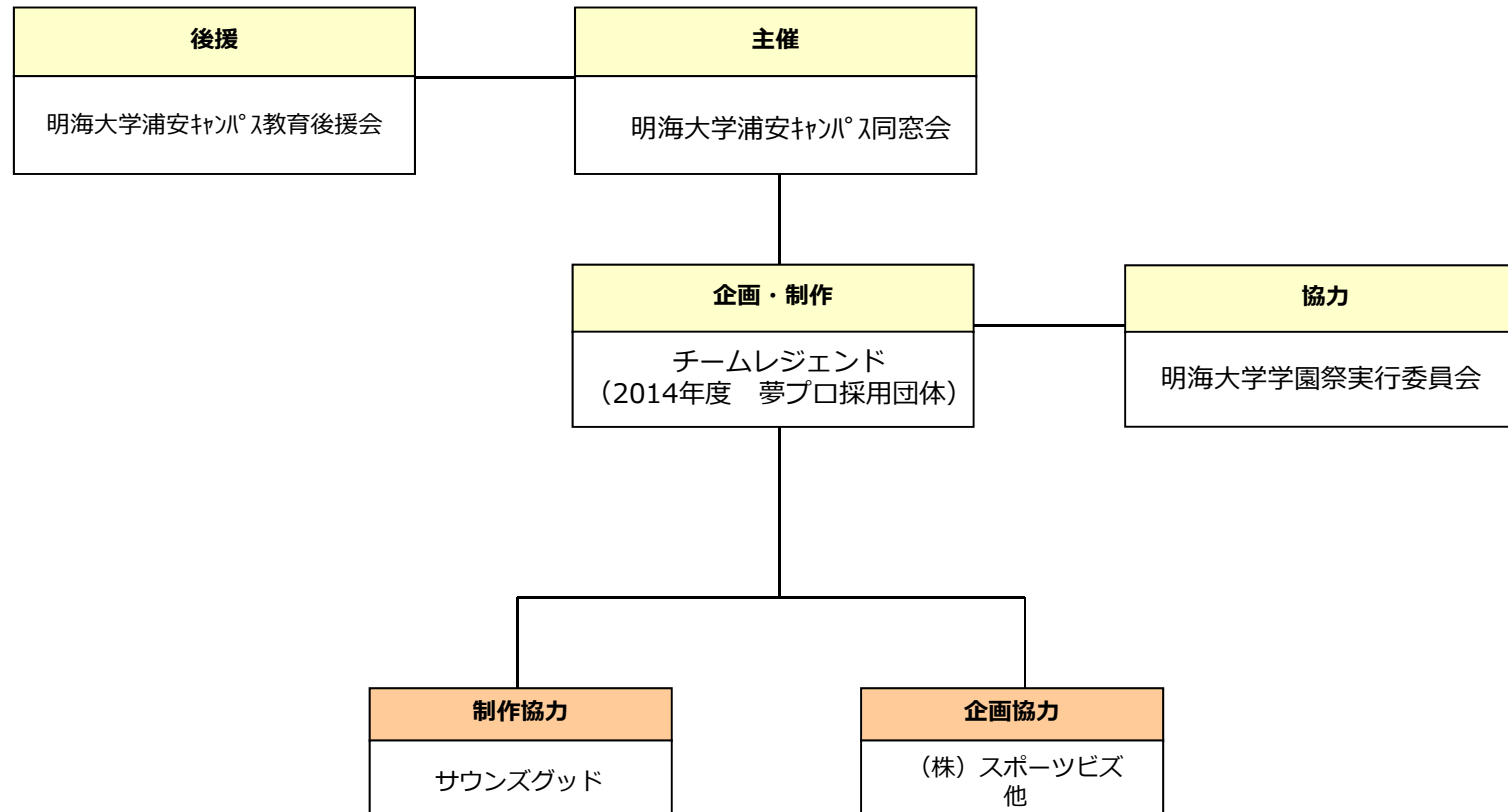
●パネリスト：岩崎恭子（バルセロナオリンピック 200m平泳ぎ金メダリスト）

山崎一彦（バルセロナ、アトランタ、シドニーオリンピック陸上競技400mハードル出場）

●コーディネーター：北原淳（コンテンツプロデューサー 明海大学同窓会会長）

実施内容① オリンピアンによるパネルディスカッション

<運営体制図>



実施内容①オリンピックによるパネルディスカッション

<パネリスト>

* 岩崎恭子さん

1978年生れ O型

◆プロフィール

14歳で出場したバルセロナオリンピック 200m平泳ぎで、史上最年少で金メダルを獲得した。

続くアトランタオリンピックにも出場し、2大会連続のオリンピック出場を果たした。

1998年の競技引退後はアメリカへ児童の指導方法を学ぶために留学。

現在は、水泳の指導ならびに水泳の楽しさの伝えるためのイベント出演を中心としながら、メディア・トークショー出演、執筆活動などを精力的に行っている。

シドニー、アテネ、北京オリンピックでは、現地からオリンピックの視点で様々な情報を日本へ発信するアスリートキャスターとしても活躍。また、2011年春に第一子を出産し、母親として日々奮闘中。



* 山崎一彦さん

◆プロフィール

バルセロナ、アトランタ、シドニーオリンピック陸上競技400mハードルに出場。

1995年世界選手権では、この種目日本人初のファイナリストとなる。

室伏広治、朝原宣治、為末大などの先陣を切って海外転戦をして、日本人が海外で活躍できるパイオニアとなった。

引退後は岐阜県、福岡大学、英国ラフバラ大学、ナショナルチームのコーチ経験を経て、現在は順天堂大学スポーツ健康科学部准教授、日本陸連強化副委員長、2020東京オリンピック・プロジェクトチーム・ディレクターに就任。ダイヤモンドアスリートなど若手

アスリートの育成システム構築に尽力している。



事前告知-1

- チラシ配布 10,000部
市役所(市民スポーツ課・健康増進課)
総合体育館
公民館
メイカイクラブ
セントラルウェルネスクラブ
了徳寺大学
順天堂大学
...など約30ヶ所
- 折り込みチラシ 41,000世帯
- 大学プレスセンターより配信
⇒exciteニュース10/27 掲載
- 大学HP
- 同窓会HP
- 同窓会FB
- 授業内で宣伝

スポーツは夢を与える。夢は未来を創造する。

明海大学運営キャンパスは、両校が主催する学生の『夢』の創造です。学生が自らの夢を明確に、父兄・教員に対しプレゼンし、実現の道を模索したチームが100万円の奨励金を獲得します。企業旅行時は、両校生が各々海外でスポーツの活躍もあこがれています。

The panel discussion by Olympian
オリンピックによるパネルディスカッション
~ 2020年 明海大学ができること~

パネリスト: 岩崎恭子

8歳より練習の甲斐でスイミングスクールに通い始める。1992年、1996年と2度のオリンピック出場を果たし、14歳で出場した92年のバルセロナオリンピックでは200m平泳ぎで金メダルを日本の若き世代で獲得した。98年世界学生選手権ではアメリカへ遠征の経験方法を学ぶために留学。現在は、水泳の指導ならびに水泳の成長を支えるためのイベント企画、講演活動を中心としながら、メディア・ショー・出版・執筆など多岐にわたっている。

パネリスト: 山崎一彦

バレーボール、アテラン、3人でオリンピックで史上最多の400mバレーボール出場。1995年世界選手権では、この項目日本人初のファイナリストとなる。世界代表、練習生、選手としての経験を培って海外転居をして、日本人が海外で活躍できるパイオニアとなった。引退後は経典、経典大学、東京リハビリテーション大学、アテランチームのコーチ経験を経て、現在は順天堂大学スポーツ健康科学部 水泳科、日本水泳連盟指導員、2020東京オリンピック・アテランチーム・アテランチームに所属。オリンピック選手やアテラン選手など数々のアスリートへのサポートも経験に誇りに思っている。

11.1 SUN 開場 10:40 ※先着順にて入場
開演 11:00-12:00
300名/無料

明海祭最終日 | 明海大学浦安キャンパス2206教室
〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目
駐車場の情報はごさいせん。

お問い合わせ 明海大学浦安キャンパス両校舎事務局
www.meikai.ac.jp tel.047-355-5112

事前告知-2

- 新聞 明光企画発行
 浦安新聞第1654号(平成27年10月23日(金) 59,360部発行)
 行徳新聞第1819号(平成27年10月30日(金) 64,230部発行)

明海大 学生の夢が形に オリンピックによる パネルディスカッション

〜2020年 明海大学ができること〜

明海大学で、元オリンピック選手を招いた講演会が開催される。

パネリストは、92年バルセロナオリンピック200m平泳ぎ金メダリストの岩崎恭子氏と、バルセロナ・アトラント・シドニーオリンピック陸上競技400mハードルに出場した山崎一彦氏。


二人が実際に見たオリンピック会場や施設、ボランティアスタッフの様子などについて、エピソードを交えたトークを展開する。

このイベントは、同大学浦安キャンパス同窓会


主催の、学生の夢を応援する企画『夢プロジェクト』により実現したものです。

これは、学生が夢をプレゼンし最高得点を獲得したチームに、夢を実現するための100万円の補助金が与えられ、さらに同窓生がサポートを行うという事業。

今回は、東京オリンピックを控えた今、『アスリートの講演会を実施しスポーツを通じて「夢を描くこと・それを実現すること」の大切さを広めたい』と訴えた、「チームレジェンド」の企画が具現化された。



岩崎恭子



山崎一彦

▽お問い合わせ
☎355・5112 / 同窓会事務局

▽参加無料

▽定員300人 / 申し込み不要、直接会場へ

▽11月1日(日) AM11正午(A.M.10:40開場)

▽明海大学浦安キャンパス2206講義室

▽11月1日(日) AM11正午(A.M.10:40開場)

▽明海大学浦安キャンパス2206講義室

▽定員300人 / 申し込み不要、直接会場へ

▽参加無料

▽お問い合わせ
☎355・5112 / 同窓会事務局

オリンピックで同大学や浦安市ができることのアイディアを募るアンケートや、後日意見交換会も実施する。

実施内容①オリンピックによるパネルディスカッション

<構成>

- ①パネリスト紹介 *選手時代の映像を見ながら
- ②エピソード
- ③オリンピック都市の雰囲気について *街並みや施設
- ④ボランティアスタッフについて *印象的だったシーンなど
- ⑤東京オリンピックに期待していること
- ⑥明海大学の紹介
- ⑦明海大学が2020年に出来そうだと思うこと

- ・明海大学と選手村の距離が近い
オリンピック専用レーンによりアクセス短縮
- ・明海大学の施設紹介
グラウンド・体育館・テニスコート・プール
- ・明海大学の学部紹介
外国語学部・HT学部・不動産学部・経済学部

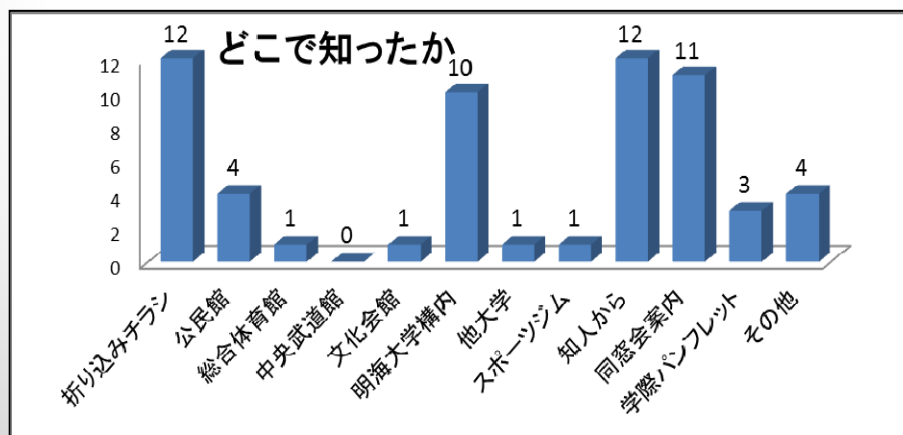
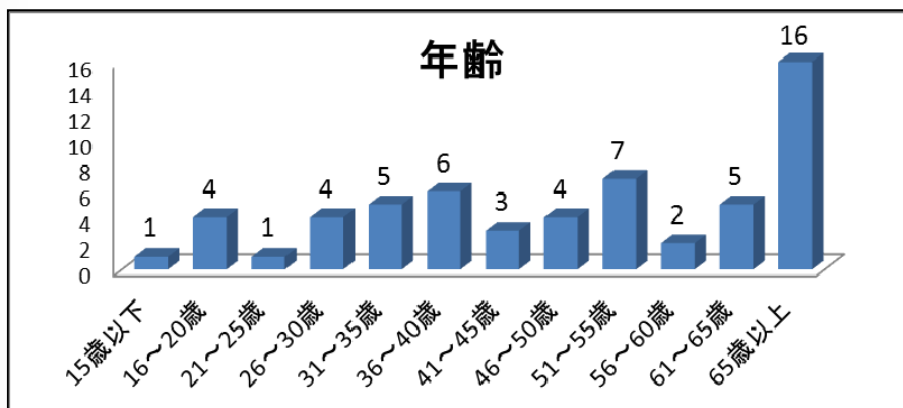
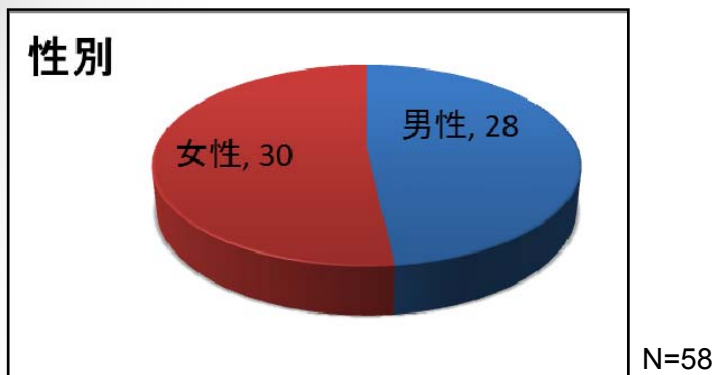
を踏まえて明海大学、浦安が、できることは？



パネルディスカッションの写真



アンケート結果・感想



☆良いイベントをありがとう！

- 最近スポーツを始めた子供に続けることの大切さ、その先に続く夢などをこれから教えていきたいと思います。
- 五輪の裏話を聞けたので面白かった。選手として見た五輪、報道陣として見た五輪の多角的な五輪の話は貴重で、とても興味深かった。
- スポーツ文化により日本が健康になる、経済も流通する。良い面があることを聞けました。

☆東京オリンピックを考えるきっかけに！

- 浦安・明海大学が選手たちに快適にすごしてもらえるように尽力すべきと感じた。今から市民・大学内での事前教育が必要ではないか。オリンピックを身近に感じる、今回のような機会をまた提供してほしい。
- オリンピックに対して他人事のような気持ちがあったのですが、今日のお話を聞き、自分を含め日本人住んでいる方々の受け入れる気持ちがとても大切だと思いました。一人一人が関心を持つことで、オリンピックが成功するのではと感じました。

参加者からの具体案

☆施設提供

- ・ オリンピック練習場としての施設の提供

☆ボランティア

- ・ ボランティア(道案内)
- ・ 市民、学生、ボランティアの教育。大学という教育の場を活かして専門家を呼び、講演を開いたり、大学の授業(オリンピックに関する)を開講したりできないだろうか？

☆その他

- ・ 1つの大学で1つの国、あるいは1つの競技の支援をするようにして、その大学のリーダーとして明海大学が名乗りを上げるのが良い。
- ・ ある特定国(オリンピック参加もおぼつかないような国)を支援し、2020年オリンピック参加への後押しをする。
- ・ 市や自治体などを動かす。

実施内容② 意見交換会

2015年11月28日（土） 明海大学浦安キャンパス FE教室

パネルディスカッション時のアンケートを集計をもとに
「2020年の取り組み」を企画立案する意見交換会。

参加者：学生・市民・教員などによる有志20名を予定していた。

*パネルディスカッション時に募集

男女7名が参加を希望
市民6名・市外1名
年齢46歳～

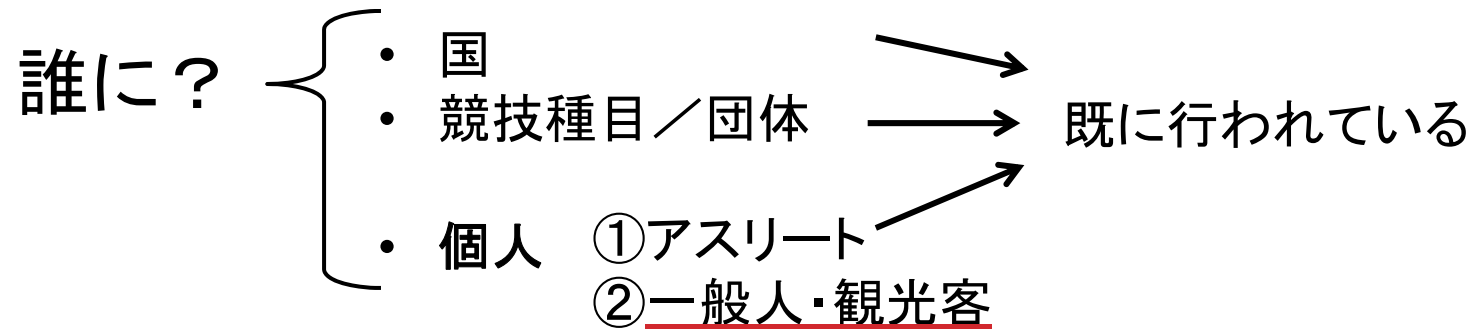
しかし…
当日、参加者が揃わず…

チームレジェンド内で
「2020年の取り組み」を検証した！！

→次ページ

チームレジェンドからの提案① ハード面から考えると...

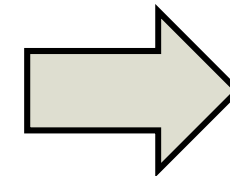
①施設提供



キャンプでもなく、選手村でもない

個人向けの

新しい何か！



Meikai SPO'CUL Village

~Supporting of Sports & Culture Spot~

個人を対象に「明海“スポカルヴィレッジ”を設置」しては??

- ①スポーツ施設提供
- ②インフォメーションセンター（なんでも相談受付）
 - ・ガイド
 - ・お店紹介
 - ・マナー
 - ・デンタルクリニック
- ③芝生の広場を活用したキャンプ場
- ④フェスティバル開催（オリンピック祭り）

等々

チームレジェンドからの提案② ソフト面から考えると...

●スポーツ文化を広める

協力の呼びかけ

浦安市と連携して実施

→スポーツ文化が広まり、
オリンピックに対する意識も高まる

講座 (・オープンカレッジ(市民向け) ・授業(学生向け))

＜明海ならではの講座＞

- ★不動産から見たオリンピック
- ★オリンピックボランティア
- ★Sports English

＜一般的な講座＞

- ・オリンピックの歴史
- ・スポーツマーケティング
- ・メディアとスポーツ

講演 = イベント

- ・ 講座内容を大規模に展開

●ボランティア教育(学生 & 一般市民)

- 講座や講演を「学びの場として」活用する。
- 有志は、「スポカルヴィレッジ」のスタッフに！！

予算・決算

科目	予算	実績	差	備考
パネリスト出演料	540,000	448,192	-91,808	スポーツビス(岩崎恭子)、山崎一彦
広告費:折込チラシ	216,000	154,421	-61,579	明光企画:浦安市内41,000世帯
広告費:チラシデザイン	54,000	54,000	0	
広告費:チラシ印刷	129,600	119,340	-10,260	51,000部
諸経費	54,000	6,791	-47,209	レンタカー代、封筒代等
	993,600	782,744	-210,856	

感想

☆夢プロジェクトを通して

- 普段の学生生活ではできないことを経験した。すべてが**勉強**になった。
- **企画立案の大変さ**を痛感した。
- 人脈を広げることによって、さまざまな**ヒント**を得ることができた。
- 自分たちの考えが甘く、思い通りに進まず、**苦戦**した。
- 周囲の方々の**協力**がなければ、やり遂げることはできなかった。
- メンバーの脱退や就職活動など**何度も壁にぶつかった**。
しかし、その分、**達成感**は大きなものに。
- ひと段落ついた今は、ほっとしている。

☆当日やってみて

- 教室など変更点もあったが、前日のリハーサルで確認していたため、**迅速に対応**することができた。

なにより…

夢プロジェクトをやって良かった！

1年間ありがとうございました！



私たちの最終的なゴールは、2020年に「アクション」として届いたときです。

For the **TOKYO** Olympics ...

チームレジェンド一同